

平成20年12月12日
東北地方整備局

入札監視委員会第一部会第3回定例会議（12月5日）の 審議概要について

～抽出案件11件を審議、意見の具申又は勧告はなし～

平成20年度東北地方整備局入札監視委員会第一部会第3回定例会議が、12月5日（金）に仙台市の東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成20年度第2四半期分を対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③談合情報、④一位不動状況、⑤低入札状況）の報告を行いました。

さらに今回は、国土交通本省の公正入札調査会議が、今年度実施した民間業者へのアンケート結果を踏まえ、発注者支援業務等における競争性の一層の向上を目的にまとめた「平成21年度発注者支援業務等の契約方式等について」の報告を行いました。

なお、議事では、委員により抽出された案件11件の審議が行われ、委員からの意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

○ 審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022) 225-2171（代表）

主任監査官

はたけやま もりお
畠山 盛雄（内線2114）

入札契約監査官

まつだて ひろし
松館 弘（内線2220）

契約管理官

くまがい いさお
熊谷 伊佐男（内線2222）

技術開発調整官

むらかみ かずお
村上 和夫（内線3120）

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所		平成20年12月 5日（金） 東北地方整備局 大会議室	
委員		部会長 遠藤 孝夫（東北学院大学工学部環境建設工学科教授） 部会長代理 内田 貴和（公認会計士・税理士） 委員 佐藤 英世（東北学院大学法科大学院法務研究科教授） 委員 宮原 育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授）	
審議対象期間		平成20年 7月 1日 ～ 平成20年 9月30日	
総抽出案件		総件数	11件
工 事	抽出案件	6件	
	一般競争 (WTO対象)	1件	
	一般競争 (WTO対象外)	3件	
	工事希望型競争	0件	
	通常指名競争（一般土木）	1件	
	通常指名競争（その他）	0件	
	随意契約	1件	
建設コンサルタント業務等		4件	
役務の提供等及び物品の製造等		1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別添のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし	

抽出案件 工事 概要書

	工 事 名	入札・契約方式	工 事 場 所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応 募 業者数	参 加 (指名) 業者数
1	一般国道47号 新一本杉橋梁上部工工事	一般競争 (WTO対象)	宮城県宮城郡利府町加瀬地内	1,152,900 1回落札	12社	7社
2	六戸地区こ道橋工事	一般競争 (WTO対象外)	青森県上北郡六戸町大字大落瀬 地内	184,800 1回落札	4社	3社
3	米代川切石護岸工事	一般競争 (WTO対象外)	秋田県能代市二ツ井町切石地内	239,788.5 1回落札	14社	13社
4	森吉山ダム仮排水路用閉塞ゲート設備工事	一般競争 (WTO対象外)	秋田県北秋田市根森田 地内	142,590 1回落札	9社	6社
5	葛根田地区土砂災害復旧工事	指名競争	岩手県岩手郡雫石町西根高倉山国有林 地内	77,679 1回落札	—	9社
6	宇津目坂迂回路設置工事	随意契約	岩手県久慈市夏井町字鳥谷第5地割 地内	14,595 —	—	1社

抽出案件 建設コンサルタント等 概要書

	業 務 名	入札・契約方式	履 行 場 所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応 募 業者数	参 加 (指名) 業者数
7	砂防計画検討業務	簡易公募型 プロポーザル方式	新庄河川事務所 管内	34,545 —	4社	1社
8	河川施設モニタリング検討業務	簡易公募型 プロポーザル方式	東北管内11水系直轄河川	34,125 —	1社	1社
9	雄勝道路路線検討業務	標準プロポーザル方式	秋田県湯沢市院内 地内	30,240 —	5社	1社
10	岩手県警察機動隊工事監理業務	指名競争	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込 389-12	7,308 1回落札	—	10社

抽出案件 役務の提供等・物品の製造等 概要書

	業 務 名	入札・契約方式	履 行 場 所	上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯	応 募 業者数	参 加 (指名) 業者数
11	防災地域フォーラム企画運営広報業務	企画競争	福島河川国道事務所 管内	7,566.3 —	3社	1社

別添

東北地方整備局入札監視委員会
(第一部会第3回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
	<p>[指名停止関係]</p> <p>入札金額の誤りによる契約辞退後の発注案件は、どのように対処したのか。</p> <p>同じ専任技術者違反で、指名停止期間が異なる理由は何か。</p>	<p>再発注で、対応しています。</p> <p>対象案件が、整備局発注と民間発注の違いです。</p>
	<p>[談合情報等関係]</p> <p>入札の執行を取り止め後、発注工事はどのように対処したのか。</p>	<p>当該工事については、冬期を控えていることから、来年度発注の予定です。</p> <p>なお、安全性の観点から、必要最小限のものは維持工事で対応しております。</p>
	<p>[再度入札における一位不動状況]</p> <p>特になし</p>	
	<p>[低入札価格調査制度調査対象工事]</p> <p>特になし</p>	
1	<p>[抽出事案についての審議] 一般競争方式 (WTO対象) [一般国道47号 新一本杉橋梁上部工工事]</p> <p>1社の総合評価加算点が「0点」だが、その理由は何か。</p> <p>この加算点0の業者は、施工可能な業者だったのか。</p> <p>12社中5社が不参加となった理由は何か。</p>	<p>本工事は、施工体制確認型総合評価落札方式を採用しており、入札の結果、調査基準価格を下回った1社について、追加資料の提出を求めました。</p> <p>審査の結果、施工体制の確保が十分でないと判断し、0点の評価としました。</p> <p>競争参加資格があることから、実績もあり、施工可能な業者と考えられます。</p> <p>1社は、入札保証を行っていなかったためと思われます。</p> <p>他の4社については分かりません。</p>

東北地方整備局入札監視委員会
(第一部会第3回定例会議) 審議概要

別添

質 問 等	回 答
<p>2 一般競争方式 (WTO対象外) [六戸地区こ道橋工事]</p> <p>1社の辞退の理由は何か。</p>	<p>本工事の配置予定技術者が他工事の配置予定技術者と重複しており、その重複工事を落札したため、本工事の入札を辞退したものです。</p>
<p>3 一般競争方式 (WTO対象外) [米代川切石護岸工事]</p> <p>全体15箇所の災害復旧事業のうち本工事の発注は早いほうか、また全体の復旧状況はどうか。</p> <p>総合評価加算点「0」点の4社は、入札の結果、調査基準価格を下回ったので、追加資料の提出を求め、審査の結果、施工体制の確保が十分でない判断したからですか。</p> <p>入札における1社無効の理由は何か。</p>	<p>切石地区は早期着手の工事となっています。他は、今秋から来年度以降の着手予定です。</p> <p>そのとおりです。</p> <p>工事費内訳書に不備があったため無効としました。</p>
<p>4 一般競争方式 (WTO対象外) [森吉山ダム仮排水路用閉塞ゲート設備工事]</p> <p>参加可能業者数が少数となっている理由は何か。</p> <p>落札者の加算点とほぼ同じ社があるが、入札金額の違いは何によるものか。</p>	<p>ダムのゲートは規模が大きく、施工実績の規模要件を50%程度に緩和しても、施工業者が少ないということだと思います。</p> <p>内訳を見ると、据付費が高額となっています。</p>
<p>5 指名競争方式 [葛根田地区土砂災害復旧工事]</p> <p>低入札価格調査の実施内容は具体的に何か。</p> <p>緊急、かつ危険な区域であり、業者選定には価格とともに安全性を含めた技術力を考慮すべきでは。</p>	<p>施工体制等に関する資料を提出させ、ヒアリングを行い、契約の履行が可能かどうか判断しました。</p> <p>指名業者10社は過去の実績から、技術力があり施工可能と判断しました。</p>

別添

東北地方整備局入札監視委員会
(第一部会第3回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
6	<p>随意契約方式 [宇津目坂迂回路設置工事]</p> <p>見積回数が6回とのことだが、予定価格との差が大きかったのか。</p> <p>9月1日の亀裂発見後、9月2日から工事着手という短期間で行う契約では、業者の理解が得られない等の問題が考えられるのではないか。</p> <p>平成21年度の本復旧工事は、一般競争となるのか。</p>	<p>予定価格と大きな差は無かったが、1回毎の見積引下げ額が少なかったためです。</p> <p>この工事は、最初に業者と協議し承諾を得て双方合意の基に進める方式になっております。</p> <p>一般競争となります。</p>
7	<p>簡易公募型プロポーザル方式 [砂防計画検討業務]</p> <p>当初の配置計画とはいつのものか。</p> <p>今回の見直し計画は今後何年くらい適用させるのか。</p> <p>非常に落札率が高いがどう思うか、見積回数は何回か。</p> <p>技術提案を提出した他3業者も評価点は高いが、このような業務でも実施可能な業者が増えてきたのか。</p>	<p>昭和45年度に策定された砂防基本計画です。</p> <p>通常は、概ね20年に1回程度で見直しを行っています。</p> <p>プロポーザル方式は、結果的に随意契約であり、見積合わせのため高くなっていると思われます。 見積回数は1回です。</p> <p>競争性を高めるため簡易公募型プロポーザルを採用したこと、及び参加要件を緩和したことにより、4社の応募があったと考えています。</p>
8	<p>簡易公募型プロポーザル方式 [河川施設モニタリング検討業務]</p> <p>毎年発注されるという事だが、過去の受注業者はどこですか。</p> <p>参加可能者数が36社なのに参加表明が1社ですが、その理由と、今後、参加表明者を増やす方策は。</p>	<p>平成18年度は随意契約で(社)東北建設協会、平成19年度は参加者の有無を確認する公募手続きで、同じく(社)東北建設協会です。</p> <p>業務の性格上、平常時だけでなく洪水後等においても速やかな対応が必要なことや、対象範囲が東北の11水系ということもあり、実績のあった1社の参加になったと思われます。</p> <p>契約方式を簡易公募型プロポーザル方式にし、同種類業務を緩和したことで36社が可能となり、業務説明書の交付は29社ありました。これからも、多くの方々が参加表明出来るような制度にしていくことが大切と考えています。</p>

東北地方整備局入札監視委員会

別添

(第一部会第3回定例会議) 審議概要

	質 問 等	回 答
9	<p>標準プロポーザル方式 [雄勝道路路線検討業務] 現在、事業中の院内道路の路線検討業務の受注業者はどこか。</p>	<p>セントラルコンサルタント（株）です。</p>
10	<p>指名競争方式 [岩手県警察機動隊工事監理業務]</p> <p>機動隊の庁舎をなぜ国土交通省が建設するのか。</p> <p>潜水訓練棟の設計・監理は特殊な知識は必要無いか。</p> <p>総合的評価の技術的適正で業務実績に「C」の記載があるが、その意味はなにか。</p> <p>予定価格に対して落札額が低いが、低入札の関係から何か抵触する事柄はないのか。</p> <p>入札価格に差があるが、内訳はなにか。</p> <p>総合評価の業務実績におけるA5点、B3点、C1点の合理的理由はあるか。</p> <p>総合評価の業務実績において「国土交通省の実績」ではなく「東北地方整備局の実績」としているため、他の整備局の実績では、Aとならないのではないか。</p>	<p>国費で整備する施設となっており、警察庁からの支出委任を受けて、国土交通省が実施しています。</p> <p>水深5メートルと浅く、他の機動隊等でも実施事例があり、特殊な知識は必要ありません。</p> <p>市町村・民間の実績という意味です。</p> <p>予定価格が1000万円未満のコンサルタント業務には調査基準価格が無いので、低入札調査の対象とはなりません。</p> <p>内訳については、提出を求めておらず分かりません。</p> <p>整備局実績の方が仕様書、工事関係書類等に精通していることから、高い品質確保が期待されるという観点から差をつけています。</p> <p>実績を調べた結果、今回の対象業者17社では、他地方整備局の実績がなかったため、東北地方整備局の実績としましたが、標準的には「国土交通省の実績」としていることから、今後、表現を検討します。</p>
11	<p>企画競争 [防災地域フォーラム企画運営広報業務]</p> <p>報告書は出されているのか。</p> <p>工期の変更と変更増額の理由は。</p> <p>変更は業者からの提案か。</p>	<p>現在履行中のため、まだありません。</p> <p>工期変更は関係機関との調整により開催日が変更となったためです。</p> <p>増額は、地元の方々から当初予定を大幅に上回る資料提供があり、それらをデータベース化する部分で変更増となりました。</p> <p>事務所としての判断です。</p>

総括	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項は、特にありません。	
----	-----------------------------------	--